

自然保育推進事業 活動報告書

1 団体名

学校法人ころころ学園どんぐり幼稚園 広島県神石郡神石高原町階見 518

2 令和4年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

園庭のイチョウの木

開園当初、初代園長が植えた園庭のイチョウの木が四季折々の顔を見せてくれています。成長段階で伐ることによって枝が広がり、ツリーハウスになるようにしています。はしごをかけて木の上にかだを組み、滑り棒やロープからおりてくる子どもたち。

危険の無いよう年二回の奉仕作業の時に保護者の皆様と一緒に点検、補修して傷んでいる箇所を取り換えたり防腐剤やペンキをぬり、環境を整えています。

秋には銀杏が大量になって落ちるため、毎朝その都度拾い集めてむいて乾かしています。銀杏の実には臭いもきつく、汁にかぶれるので子どもたちも気をつけて拾っています。今年も道の駅 182 ステーションへ出荷しました。



銀杏の木

裏山のそり滑り場

雪がふったときにそり滑りができるように、斜面になるように土を運び、整えています。奉仕作業で保護者の方と秋のうちに草刈りや斜面の点検をして環境を整えておくようにしています。

秋にはイノシシが出て掘り返したりするの埋めたりして整備しています。

今年は積雪が多く、ソリ滑り体験を存分に楽しみました。

(2) 遊びの事例や、子どもの育ちに関すること

○年長児川遊び（8月）

園から200mほどのところの川へ川遊びに行きました。

ゴロゴロとした石の上を歩いてカニやハエゴ、ドジョウを捕まえて遊びました。自然に囲まれているけどいつもとは違う体験を通して子どもたちの世界が広がります。

○いもほり・やきいも（11月）

春に植えたさつまいもを収穫しました。大きなおいもや、ちっちゃなおいもを掘っては満面の笑みで写真を撮りました。

植え付けの時にヒバの葉で一本一本の苗に日傘を作り、直射日光が当たらないように根付きやすくしました。

園庭で焚き火をして、おいもや銀杏を焼いてみんなでいただきました。焚き木は秋の探検で裏山に行った時に落ちている枝をそれぞれに拾い集めて持ち帰り、乾かしておいたものを使います。大きな火をみんなで取り囲み、歌を歌ったりしながらいもを濡らした新聞で包み、さらにアルミホイルで包んで焼き芋の準備をします。こうすることでホクホクの焼き芋ができます。



いもほり

○雪遊び（1月・2月）

今年は雪が積もって子どもたちは大喜び。園庭で雪だるまやかまくらを作り、思い思いに雪に触れ楽しみました。

裏山の斜面ではそりすべり。緩やかな斜面では飽き足らず、急な斜面へとそりを持ち込み、お友達と一緒にキャーッといいながら楽しく滑りました。上る道、滑るところの区別をつけ、約束を守って楽しみました。



雪遊び

(3) その他、自然体験活動の実施にあたって工夫したこと

有毒植物対策講座を受講し、子どもたちを被害から守るための知識などを学び、園内研修で職員に周知しました。

自然体験をしていく中で、山に上る大変さ等を感じ、自然物に触れることで、日常生活にも工夫が生まれ、遊びの幅も広がりました。

子どもたちの思考力、問題解決の力をつけていけるように、子どもたちの興味や関心をひいたり、行動を予測した環境構成に気を配ることが必要であると感じました。

令和5年度から新園舎に移設し、新しい環境になる為、1から危険個所の点検をこまめにしながらも、自然を利用した遊びや保育があることを念頭に置いて自分で判断することも大切にしながらの環境整備をしていかなければいけないと感じております。

日々環境構成に関する研修や、話し合いを重ねて学びを深めていきたいと思っております。

